

2025

令和7年11月10日

第23号

(通算182号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

# IT短大VIEW!



## 1 電子工作や野球ゲーム盛況！



「青少年のための科学の祭典 2025」ひたちなか大会が、11月1日(土)に市立総合体育館で開催されました。本校は、LEDの電子工作や野球ゲームを出展しました。スタートと同時に多くの親子連れが訪れ、熱心に電子工作に取組んでいました。参加した小学生は「ワ～ちゃんと光った」と笑顔で喜んでいました。

## 2 日立工高で進学説明会実施！



県立日立工業高校の2年生を対象にした進学説明会（情報学）が、10月27日（月）に実施され、情報に関心のある高校生15人が集まりました。講師から、配布資料を元に「AIをはじめとした、デジタル技術の進展したデジタル社会を生きる高校生にとって、情報活用能力が益々重要」との話があり、生徒たちは熱心に聞き入っていました。

## 3 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞日本経済新聞 (2025年10月18日)  
機器や技術が人の安全守る  
元気の処方箋

### ●佐藤大輝さん（石岡一高卒）

◇要約：介護現場の安全確保と負担軽減のため、介護ロボットや見守りセンサーなどの技術活用が不可欠となっている。

転倒防止や職員の精神的負担軽減に貢献しているが、機器導入後は職員の研修と適切な運用体制が重要となる。技術は「人の安全を守る手段」となる。

◇感想：介護現場の安全性を高める上で、技術が事故防止だけでなく、職員の負担を減らす役割を担えることに感銘を受けた。

IT技術者として、技術を現場に浸透させるための研修や運用サポートに加え、人と技術との最適な連携が重要だと感じた。

### ●藤村幸平さん（水城高卒）

◇感想：日本の社会問題として、高齢者福祉、物流、建設、農業等の社会インフラを支える人材が不足している。IT技術者として、IT技術で貢献できる分野が多いと思う。社会の需要に対し、常に気を配りたいと思った。



### ●岡村優誠さん（下館一高卒）

◇感想：近年は高齢化の影響で要介護者が増え、介護職に就く人のケアが問題となっている。IT技術者がデジタル化を進め、介護職員の人が少しでも楽になるような支援技術を提供できるようになったら良いと思った。

### ●本橋梨心さん（土浦三高卒）

◇感想：これから高齢者が増え、支える人が減少する中で、こうした支援技術が進化することで若者の負担軽減になると思う。

こうした支援が実現できるIT技術者となるよう、沢山勉強していきたいと思った。

### ●森穂乃歌さん（那珂高卒）

◇感想：私はこの記事を読んで、高齢化と人手不足によりリハビリを支える人の負担が増えていることを知った。デジタル機器やロボットの導入により、安全を守りつつ介護を行っている。私もIT技術を通して、そうした人々を支援できるようになりたい。

